

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年2月5日

事業所名 あいあい静岡駅南校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	②	職員の配置数は適切である	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・規約上の問題はありますが、家事での突然のお休みや入院での長期休みなどが重なり、ヘルプに来ていただいた。 ・職員の退職、休職で支援員の定数とならず、他校舎からヘルプをお願いすることがあった。 ・職員の休職、退職で人員が少ない時には他校舎からヘルプがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教室からのヘルプを得て、指導員の基準（2人）は満たしている。静岡市との連携もとれており、担当の方からは「ヘルプで来ていただけたならば、それで基準を満たしますので、大丈夫ですよ」との言葉をいただいている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		<ul style="list-style-type: none"> ・パッと見てどこですぐずのか分かりやすかったり、事故・怪我の内容に部屋の中に置くものも注意している。 	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			<ul style="list-style-type: none"> ・この事業所評価はホームページで公開される予定である。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度は内部監査を実施した。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		<ul style="list-style-type: none"> ・本年度よりキントーンのアセスメントシートを活用して、標準化を図っている。 	

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			・定期的に確認し計画とそ れていないか確認してい る。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・2人で見ているお子さん はその都度話し合っている 様子が窺える。全員が支援 できるお子さんに関しては 記録を確認したり、母親か らの聞き取りの情報に沿っ てプログラムを立ててい る。 ・児童の様子を踏まえ、保 護者の要望も取り入れ、他 指導員に意見を仰ぎプログ ラムを立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			・その日のお子さんの様子 から、フィードバックの際 に次回はどうしてみます、 と言えるように支援をしな がら考えている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜 組み合わせる児童発達支援計画を作成している	1	3		・児発の集団支援は行えて いない。 ・児発の人数が増えてくれば小 集団も検討したい。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行 われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・部屋のセッティングや職 員の動き、気を付けること を必ず確認している。 ・基本的に打ち合わせは行 い、難しい時は前日に行う ようにしている。 ・基本しているが、出来な い日には事前に行ってい る。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日 行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有 している	2	2		・支援終了時は退勤時間な のでしていない。次の日に 前日のことも含めて話し合 っている。 ・支援終了は退勤時刻なの で翌日振り返りを行う。 ・退勤時刻のため、翌日以 降行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の 検証・改善につなげている	4			・3日以内に記録を書きお 子さんの様子を振り返りつ つ、自分の支援の仕方も振 り返っている。

					<ul style="list-style-type: none"> 基本3日以内に記録を書き次回の支援に繋げている。 	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		<ul style="list-style-type: none"> 主な指導員と児発管で行ければベスト。指導員が難しい時は児発管にお願いしている。 基本的に、児発管と支援担当者が参加している。 児発管と担当者が出席している。 	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1		<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターよしよしさんとの交流があります。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		1	<ul style="list-style-type: none"> 直接的なかかわりは行っていない。主に母親に聞いて職員間で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 母親をとおして留意点を職員全体でシェアしている。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		2		<ul style="list-style-type: none"> 母親をとおして留意点を職員全体でシェアしている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 希望が今までなかった。保護者の中で周知されていないと思われる。年長さんのお子さんには積極的声をかけていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 年長のお子さんの保護者に情報提供し、ニーズのある方については小学校や特別支援学校への情報提供を考えたい。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2		<ul style="list-style-type: none"> 学校の個別支援計画を見させていただき、それをあいあいの個別支援計画に反映させることで足並みをそろえようと努力している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2		<ul style="list-style-type: none"> 静岡市発達障害者支援センターきらりの外部研修などに積極的に参加しています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		3		<ul style="list-style-type: none"> 他の園との子ども同士の交流はありません。
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3		<ul style="list-style-type: none"> 駿河区葵区事業所連絡会に参加している。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		<ul style="list-style-type: none"> 支援終了後は保護者とフィードバックを行っている。 	
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		3	<ul style="list-style-type: none"> 私は参加できてないが、児発管が研修を受けてくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度にペアレントプログラム（ペアプロ）を実施予定。アスペ・エルデの会主催のアドバンスドワークショップ研修で「ペアプロ実施資格認定証」を発行してもらいました。 	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		・児発管がやってくれている。	・上限管理結果について、毎月ハンコをいただきながら説明している。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		・児発管がやってくれている。	・新規契約時、あるいは半年以内ごとのモニタリング時に個別支援計画について説明している。子どもの実態や保護者の意見を取り入れたものへと常にver.upしている。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		・児発管がやってくれている。	・2021年度は事業所内相談を延べ24件受けてきました。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	・児発管がペアプロの研修を受けてくれたので、今後行っていきたい。	・2021年度は、コロナのこともあり、大規模な保護者会は見合わせてきた。2022年度はペアトシを実施予定。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		・ブログやラインを使って配信している。	・定期的な会報は2022年度に検討します。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4			・引き続き個人情報の取り扱いには気を付けていきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		・行事に地域の方を招くことは現時点では考えていません。ただ、万が一の避難場所として、隣の事業所や2階の事業所とは連携ができています。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		・定期的に防災訓練を開催している。
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	・毎月テーマを変えて防災訓練を行っている。 ・防災訓練は行っているが、実際に利用者と一緒に避難などはしていない。	・利用者も交えた避難場所への避難経路の確認は今後実施していきたい。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		・子どもの体調の波は常に把握している。特にてんかん発作のあるお子さんは担当指導員が軸となり、発作が起こった時にどう動くか決めている。 ・アセスメントシートを記入してもらっている	
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	・本事業所で食事やおやつを摂ることは基本的にない。他の校舎で集団活動を行った際は、お菓子や飲み物を提供する場合は、あらかじめアレルギーの確認をしていた。	

				<ul style="list-style-type: none"> ・食事の提供はしていない。 ・食事の提供はなし 	
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度入社した職員は何がヒヤリハットかまだ難しいので、他の職員が伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告はその都度文書にて作成し、全体でシェアしています。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			<ul style="list-style-type: none"> ・2021年は6月3日（木）に虐待防止研修を実施しました。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4			<ul style="list-style-type: none"> ・必要な場合には、個別支援計画に記載するか、別紙を作成して了承を得ます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年2月5日

事業所名： あいあい静岡駅南校 保護者等数（児童数）： 9人 回収数： 7人 割合： 78%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	2	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	0	0	0	通所されている児童数が不明なため、配置人数が適切であるのか判断できない。	・指導員の基準（2人）は確保しています。静岡市との連携もとれており、毎回確認しながら運営を続けています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	0	0	やや殺風景な玄関・廊下である。子どもたちの作品等を展示したら本人のやる気にもつながるし、評価された気分になるので嬉しいのではないか。	・子どもの気が散らないように、可能な限り掲示物は最小限としています。 ・子どもの作品掲示は2022年度も継続していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	0	0	支援室の壁の仕切りが薄いため、隣の子ども声が聞こえたり、また本人の「やったー」という大きな声が聞こえていると思う。これらのせいで集中力を欠いてしまわないか少し心配である。	・隣の子ども声が聞こえてしまうところは申し訳ありません。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	0	子どもの変化に柔軟に対応できている。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	0	0	0	子どもの嗜好に合わせて支援内容を変更して下さるので、子どものやる気につながり、また飽きずに支援を受けることができています。	

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	1		・他の園との子ども相互の交流は現時点では考えておりません。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6	1	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	2	2	1		・2022年度はペアプロを実施予定です。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	0	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	3	3	1		・2021年度はコロナのこともあり、全体としての保護者会は見合わせてきました。2022年度は人数を絞った形での何らかの会を検討します。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	0	0	1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	0	0	0		・2022年度は定期的な会報を検討します。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	0	0	0		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	2	2	2	特性を踏まえた避難訓練があればよい。	・子どもにも参加してもらっての避難場所への避難経路確認を検討します。 ・職員間での各種防災訓練は月に1度の割合で実施してきました。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	1	小さい下の子どもをときどき連れていくことがある。兄の支援をみた下的子が、自分も	

						「あいあいさんに行き遊びたい」と言います。ときどき、家族交流会など企画してもらえたら下の子ども満足すると思う。	
②	事業所の支援に満足しているか	7					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。